

## 「ガザ戦争」とパレスチナ問題の「解決」

講師： 奈良本 英佑 さん(法政大学名誉教授)

**略歴** 1941年生まれ。京都大学文学部卒、1965年から1980年まで、毎日新聞記者。プリンストン大学院で中東史専攻、1991年から2021年まで法政大学教員。中東学会会員。

**著書** 「君はパレスチナを知っているか」(ほるぶ出版、1997年、ほか)「パレスチナの歴史」(明石書店、2005年)；翻訳書、Y.ハルカビ「イスラエル・運命の刻」(第三書館、1990年)など

パレスチナ人のイスラーム組織「ハマース」の奇襲。イスラエルが「報復」の名で行っている、連日のガザ地区への猛烈な砲爆撃。いずれも大方の予想を超えている。すでに死文化した「オスロ合意」と、ここで想定されていた「二国家解決案」(パレスチナ、イスラエル両国の平和共存)、とも終わったように見える。

では、パレスチナ・イスラエル問題の解決はどのように可能なのか。そもそも、イスラエル建国のイデオロギー「シオニズム」とは何か。米ソを含む欧米諸国が「ユダヤ国家」建国に至るこの運動を支援したのはなぜか。ポスト・オスロ時代の平和的解決は、どうすれば可能か。こうした問題を考えてみたい。

「二国家解決案」、イスラエル・ユダヤ人とパレスチナ人が平等の権利・義務を分かち合う「一国解決案」、そのいずれとも違う「第三案」。いずれもその実現は非常に難しいが、紛争の平和的解決には何が必要なのか。改めて考えてみよう。

**日時**： 12月17日(日)14:00～16:30 (当日時間が取れない方は、事後に録画配信します。)

**場所**：Zoomによるオンライン・ミーティングとして行います。

**参加費**： 一人 1,000円(入金後のキャンセルは、ご容赦ください。)

**申し込み方法**： 次の peatix アドレスから申し込み、各自が選択された方法で事前に

お支払いください。<https://begleiten231217.peatix.com/> ⇒

- ・お申込み・お支払いは、コンビニ経由の場合 12月16日(土)まで、クレジットカード利用の場合は、12月17日(日)12:00 までです。



**Zoom の URL**： お支払い確認後、12月17日 13:00～13:30 に Zoom の URL、ID、パスワードを、個別にご連絡します。

**Zoom を利用されたことのない方は**、使用方法をお伝えします。お申込み時にお知らせください。

**主催**:ベグライテン HP: <http://begleiten.org/>

**FB**: <https://www.facebook.com/begleiten2/> **Twitter**: <https://twitter.com/Begleiten2001>

**問合せ・連絡先**： 関根和彦 090-9146-6667 [k\\_sekine@f7.dion.ne.jp](mailto:k_sekine@f7.dion.ne.jp)